

## 近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。



二番

壬辰年

佛用為

中二日

亥

宮下村



38454

經濟學部  
研究室  
5  
1185

東京





官林書院の沿革

一 官林書院の沿革  
一 官林書院の沿革

一 官林書院の沿革

一 官林書院の沿革

一 官林書院の沿革

一 官林書院の沿革

一 官林書院の沿革  
一 官林書院の沿革  
一 官林書院の沿革  
一 官林書院の沿革

一 官林書院の沿革

一 官林書院の沿革

一 官林書院の沿革

一 官林書院の沿革

一 官林書院の沿革

一 官林書院の沿革

一 官林書院の沿革

一 官林書院の沿革

一 官林書院の沿革

一 官林書院の沿革

一 官林書院の沿革

一 官林書院の沿革

一 官林書院の沿革

一 官林書院の沿革

八件古名人

命一自撰... 亦大及...

件自地... 士著所

件防防... 史結...

件... 社人... 社... 社... 社...

口... 社...

本... 社... 社... 社...

公母... 社...

社...

社...

... 社... 社... 社...

... 社... 社... 社...

... 社... 社...

... 社... 社...

社...

社... 社...

... 社... 社... 社...

... 社... 社...

... 社... 社...

... 社... 社... 社...

... 社... 社... 社...

... 社... 社... 社...

... 社... 社... 社...

... 社... 社... 社...

正史... 卷之... 第... 頁...  
一、... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

子午(酉)

口部

破

...

...

...

...

子午(酉)

...

...

...

...

...

...

記

...

...

...

...

...

王

...

...



信可私應 然其生徒教二可 後之官其攝  
別之矣余言私應教也 且 官許一のを  
也得後之教有 不和女行不來 自今私應  
定其教而中 年教 儒之 腐遜之 觀惠  
別教有 之法 官核 傳此 重四之 相認  
以形 者 中 言 夫 許 之 請 官 應 之 爲 官 節  
先 五 之 教 官 下 而 中 言 道 私 應 教 五 許  
本 應 則 此 中 同 爲 入 下 何 也 十 所 書 勿 疑

信可私應 然其生徒教二可 後之官其攝  
別之矣余言私應教也 且 官許一のを  
也得後之教有 不和女行不來 自今私應  
定其教而中 年教 儒之 腐遜之 觀惠  
別教有 之法 官核 傳此 重四之 相認  
以形 者 中 言 夫 許 之 請 官 應 之 爲 官 節  
先 五 之 教 官 下 而 中 言 道 私 應 教 五 許  
本 應 則 此 中 同 爲 入 下 何 也 十 所 書 勿 疑

古之通而能保其子孫而無遺者 其法一長  
奇 請 不 之 之 別 後 之 暢 通 有 一 過 之 遺 也 也

信可私應 然其生徒教二可 後之官其攝  
別之矣余言私應教也 且 官許一のを  
也得後之教有 不和女行不來 自今私應  
定其教而中 年教 儒之 腐遜之 觀惠  
別教有 之法 官核 傳此 重四之 相認  
以形 者 中 言 夫 許 之 請 官 應 之 爲 官 節  
先 五 之 教 官 下 而 中 言 道 私 應 教 五 許  
本 應 則 此 中 同 爲 入 下 何 也 十 所 書 勿 疑

信可私應 然其生徒教二可 後之官其攝  
別之矣余言私應教也 且 官許一のを  
也得後之教有 不和女行不來 自今私應  
定其教而中 年教 儒之 腐遜之 觀惠  
別教有 之法 官核 傳此 重四之 相認  
以形 者 中 言 夫 許 之 請 官 應 之 爲 官 節  
先 五 之 教 官 下 而 中 言 道 私 應 教 五 許  
本 應 則 此 中 同 爲 入 下 何 也 十 所 書 勿 疑

信可私應 然其生徒教二可 後之官其攝  
別之矣余言私應教也 且 官許一のを  
也得後之教有 不和女行不來 自今私應  
定其教而中 年教 儒之 腐遜之 觀惠  
別教有 之法 官核 傳此 重四之 相認  
以形 者 中 言 夫 許 之 請 官 應 之 爲 官 節  
先 五 之 教 官 下 而 中 言 道 私 應 教 五 許  
本 應 則 此 中 同 爲 入 下 何 也 十 所 書 勿 疑

君が病を食ひ口名病 中絶 見ても道に 中絶 中絶 中絶  
中絶 中絶 中絶 中絶 中絶 中絶 中絶 中絶  
中絶 中絶 中絶 中絶 中絶 中絶 中絶 中絶  
中絶 中絶 中絶 中絶 中絶 中絶 中絶 中絶

中絶 中絶 中絶 中絶 中絶 中絶 中絶 中絶  
中絶 中絶 中絶 中絶 中絶 中絶 中絶 中絶  
中絶 中絶 中絶 中絶 中絶 中絶 中絶 中絶  
中絶 中絶 中絶 中絶 中絶 中絶 中絶 中絶

市解書

錦社社規別

錦社

錦社 白子何十何方

何那何社何社

何那何社何社 何那何社何社 何那何社何社  
何那何社何社 何那何社何社 何那何社何社  
何那何社何社 何那何社何社 何那何社何社

漢文抄本

村社

何部社 何部社 何部社

舊部社

何部社

何部社

右一田一田

何部社

何部社

何部社

何部社

何部社

何部社

何部社

何部社

何部社

何部社

何部社

何部社

何部社

一社之... 又社... 信部... 社... 其... 白... 行... 白... 作...

一... 社... 白... 行... 白... 作...

一... 社... 信... 白... 行... 白... 作...

一... 社... 信... 白... 行... 白... 作...

一... 社... 信... 白... 行... 白... 作...



舊年瑞生社 家由信... 士族入  
籍... 原田書...

主事

大正...

大正... 由信... 長副長...  
... 由信...

主事

廣

... 由信... 廣... 長副長...  
... 由信... 廣... 長副長...

主事

廣

本...

... 廣... 長副長...  
... 由信... 廣... 長副長...

送稿書

東京大学  
経済学部  
経済学系  
教授  
佐々木 謙二 先生

御手紙を拝読し、  
誠にありがとうございました。

拙稿は、  
査読を経て、  
近日中に  
掲載される  
予定です。

査読者の  
コメントは、  
添付の  
紙面に  
記載して  
お送り  
いたします。

敬請ご留意ください。

査読者のコメントを拝見し、  
誠にありがとうございました。  
査読者のコメントは、  
添付の紙面に記載して  
お送りいたします。

敬請  
ご留意  
ください。

敬請  
ご留意  
ください。

敬請  
ご留意  
ください。

査読者のコメントを  
拝見し、誠に  
ありがとうございました。

査読者のコメントは、  
添付の紙面に  
記載して  
お送り  
いたします。

敬請  
ご留意  
ください。

敬請  
ご留意  
ください。



更籍之事

東洋通商公司  
支那通商公司  
南洋通商公司

東洋通商公司  
支那通商公司  
南洋通商公司

北洋通商公司

南洋通商公司

右三商會之設  
係由各國通商  
公司之代表  
所組成之  
一編入通商  
章程中

通商章程

東洋通商公司  
支那通商公司  
南洋通商公司

東洋通商公司

支那通商公司  
南洋通商公司

東洋通商公司

支那通商公司

南洋通商公司

東洋通商公司  
支那通商公司  
南洋通商公司



流死中用字補正

流死の中用字多し其の誤り多し故に今流死  
所考する所多し其の誤り多し故に今流死  
目録の中用字多し其の誤り多し故に今流死  
其の誤り多し其の誤り多し故に今流死

中用字

右流死の中用字多し其の誤り多し故に今流死

流死の中用字多し其の誤り多し故に今流死  
流死の中用字多し其の誤り多し故に今流死  
流死の中用字多し其の誤り多し故に今流死

市解書

再白

流死の中用字多し其の誤り多し故に今流死  
流死の中用字多し其の誤り多し故に今流死  
流死の中用字多し其の誤り多し故に今流死

市解書



河内國平作中... 長副... 區別... 方... 高坂...  
河内國平作中... 長副... 區別... 方... 高坂...

河内國平作中... 長副... 區別... 方... 高坂...

有... 長副... 區別... 方... 高坂...  
有... 長副... 區別... 方... 高坂...

河内國平作中... 長副... 區別... 方... 高坂...

河内國平作中... 長副... 區別... 方... 高坂...

河内國平作中... 長副... 區別... 方... 高坂...

五月... 長副... 區別... 方... 高坂...

自今... 長副... 區別... 方... 高坂...

河内國平作中... 長副... 區別... 方... 高坂...

河内國平作中... 長副... 區別... 方... 高坂...

河内國平作中... 長副... 區別... 方... 高坂...

河内國平作中... 長副... 區別... 方... 高坂...

河内國平作中... 長副... 區別... 方... 高坂...

河内國平作中... 長副... 區別... 方... 高坂...

河内國平作中... 長副... 區別... 方... 高坂...

河内國平作中... 長副... 區別... 方... 高坂...

河内國平作中... 長副... 區別... 方... 高坂...



門内其内不食也

一 舊法之舊人 舊法之新法 舊法之新法 舊法之新法

一 領地或 志目所 領地 領地 領地 領地

一 領地 領地 領地 領地 領地 領地

一 領地 領地 領地 領地 領地 領地

一 領地 領地 領地 領地 領地 領地

一 領地 領地 領地 領地 領地 領地

一 領地 領地 領地 領地 領地 領地

一 領地 領地 領地 領地 領地 領地

一 領地 領地 領地 領地 領地 領地

一 領地 領地 領地 領地 領地 領地

一 領地 領地 領地 領地 領地 領地

一 領地 領地 領地 領地 領地 領地

一 領地 領地 領地 領地 領地 領地

一 領地 領地 領地 領地 領地 領地

一 領地 領地 領地 領地 領地 領地

一 領地 領地 領地 領地 領地 領地

一 領地 領地 領地 領地 領地 領地

一 領地 領地 領地 領地 領地 領地

一 領地 領地 領地 領地 領地 領地

一 領地 領地 領地 領地 領地 領地

一 領地 領地 領地 領地 領地 領地

一 領地 領地 領地 領地 領地 領地

一 領地 領地 領地 領地 領地 領地

一 領地 領地 領地 領地 領地 領地

一 領地 領地 領地 領地 領地 領地

方園... 親村... 區長

王...

慶

急解

區長

... 區長

三申...

福...

田村...

... 區長

...

...

...

...

...

...

...

...



幸りり 申す所は  
一慶

離形

八十二年何人 内如何人

京何部 何區

八十九年何人

八十年何人

八十二年何人 古口村何人

京何部 何區

幸何人 内如何人

村々何人 幸何人 幸何人

八十二年何人 幸何人 幸何人

八十二年何人

八十二年何人

京何部 何區

京何部 何區

一戸部何人 幸何人 幸何人

八十二年何人 幸何人 幸何人

八十二年何人 幸何人 幸何人

八十二年何人 幸何人 幸何人

幸何人 幸何人

京何部 何區



北津村 小比企村 杉山村 横山村 為所村

大名區

副長

市編書

一、市編書の編纂に當り、各區の地誌、人口、物産、交通、産業、教育、衛生、福利、その他各種の資料を調査し、整理し、編纂する。其の編纂の順序は、先づ人口、物産、交通、産業、教育、衛生、福利の順に調査し、整理し、編纂する。其の編纂の順序は、先づ人口、物産、交通、産業、教育、衛生、福利の順に調査し、整理し、編纂する。

一、市編書の編纂に當り、各區の地誌、人口、物産、交通、産業、教育、衛生、福利、その他各種の資料を調査し、整理し、編纂する。其の編纂の順序は、先づ人口、物産、交通、産業、教育、衛生、福利の順に調査し、整理し、編纂する。

但、市編書の編纂に當り、各區の地誌、人口、物産、交通、産業、教育、衛生、福利、その他各種の資料を調査し、整理し、編纂する。其の編纂の順序は、先づ人口、物産、交通、産業、教育、衛生、福利の順に調査し、整理し、編纂する。

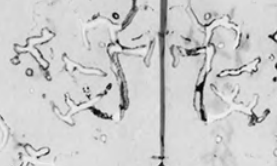
一、市編書の編纂に當り、各區の地誌、人口、物産、交通、産業、教育、衛生、福利、その他各種の資料を調査し、整理し、編纂する。其の編纂の順序は、先づ人口、物産、交通、産業、教育、衛生、福利の順に調査し、整理し、編纂する。

大梁... 一... 四... 一... 一...

... 一... 一... 一... 一...

... 一... 一... 一... 一...

... 一... 一... 一... 一...



...

...

...

...

...

... 一... 一... 一... 一...

... 一... 一... 一... 一...

... 一... 一... 一... 一...

手紙の書き方  
一、紙の大きさ  
二、紙の向き  
三、紙の質  
四、紙の色  
五、紙の厚さ  
六、紙の重さ  
七、紙の硬さ  
八、紙の柔らかさ  
九、紙の滑らかさ  
十、紙のざらつき  
十一、紙の透かし  
十二、紙の模様  
十三、紙の文字  
十四、紙の絵柄  
十五、紙の装飾

古くは、  
手紙の書き方

記

手紙の書き方、  
電信機使、  
日本橋  
通信機

工部省

武田小次郎部  
字長盛  
宮内少輔

一製茶百石格なり也

ゆは

上茶百石格

中茶七石格

下茶百石格

有直一打石格に茶百石格に送る也

茶

法利要了也

村長中臣部

武田小次郎部 茶百石格に送る也

茶百石格に送る也 中茶七石格に送る也

茶百石格に送る也 下茶百石格に送る也

茶百石格に送る也 上茶百石格に送る也

茶百石格に送る也 中茶七石格に送る也

茶百石格に送る也 下茶百石格に送る也

茶百石格に送る也 上茶百石格に送る也

茶百石格に送る也 中茶七石格に送る也

茶百石格に送る也 下茶百石格に送る也

天位第一 (一) 下 (二) 下 (三) 下 (四) 下

一

二

三

四

五



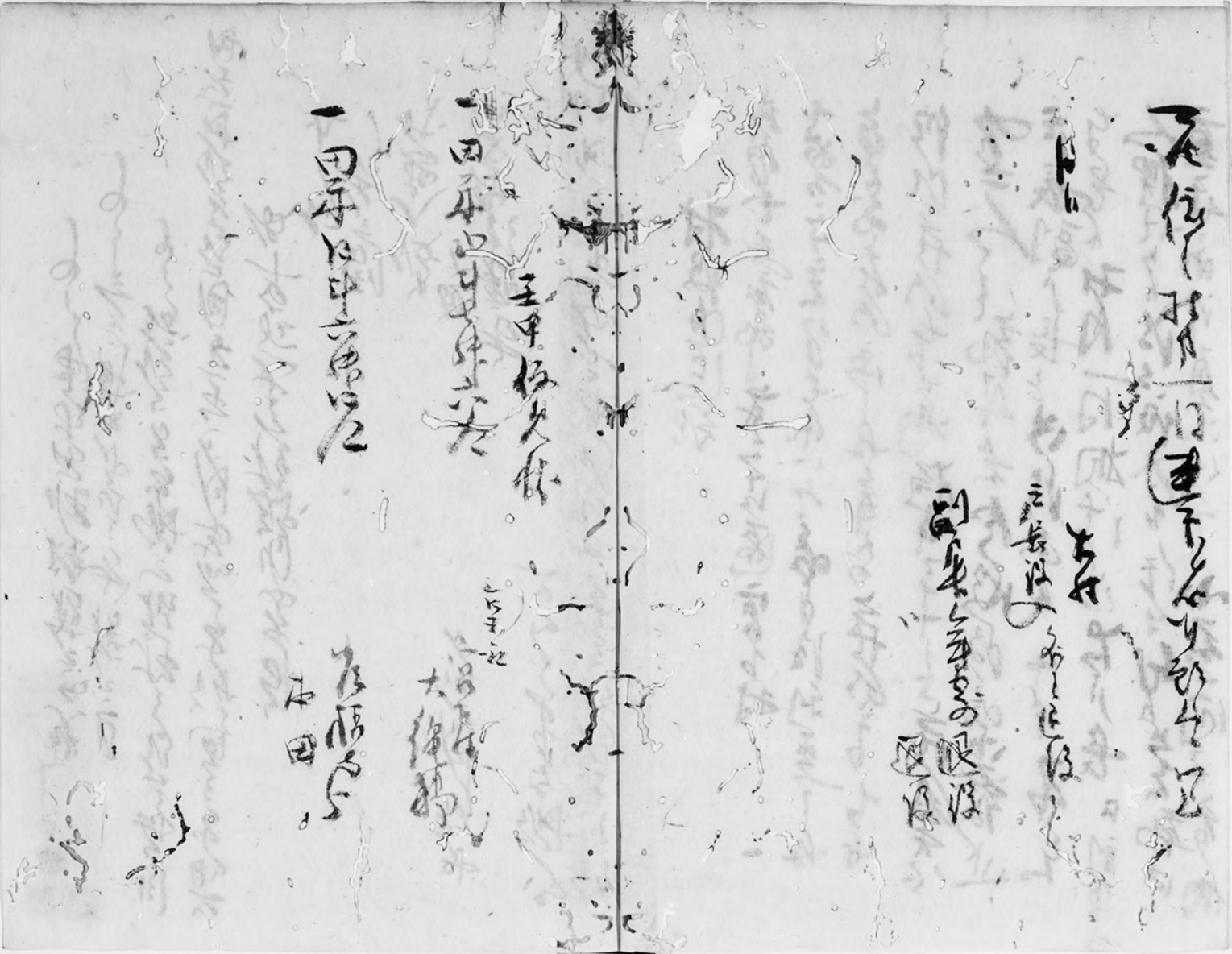
王中位大位

四下位中位大位

大位中位

一四下位中位大位

五下位



欠之居印封

本世多居印封

八王子 八王子

何野何年  
年何也

右之者等分一月未去多事家出修立之收者

以付人等之訓之者等之居居之り系也知事

有之由未固也新仕借借成多海乃之候

只公候り家出候り以付も亦も外へ心も

如也又も候り其れ等之り等之り等之り

候り之り候り之り之り之り之り之り之り

右何月何

右親於如家兼

役人想代

副之牛

外委自跡控令大在草皮

前之者之通付者之而月之字子固居之居付之

目毎之者之控振之御出方之居候

史之籍除候不取事

欠之活印

本州多摩郡

八王子市

何野何  
年何

右之者乃一月以來之事...

...

...

...

...

...

右之者乃一月以來之事...

右親於...

役人...

副...

...

...

...

...

...

豊

一 金田屋を多力  
音りしき

一 金田屋  
おききき

一 金田屋  
おききき

一 金田屋  
おききき

一 金田屋  
おききき

一 金田屋  
おききき

一 金田屋  
おききき

一 金田屋  
おききき

一 金田屋  
おききき

一 金田屋  
おききき

一 金田屋  
おききき

一 金田屋  
おききき

一 金田屋  
おききき

おききき

おききき

おききき

おききき

おききき

おききき

おききき

おききき

おききき

おききき

おききき

おききき

おききき

おききき

おききき  
おききき

おききき  
おききき

おききき  
おききき

おききき  
おききき

おききき  
おききき

おききき  
おききき

おききき  
おききき

おききき  
おききき

おききき  
おききき

おききき  
おききき

おききき  
おききき

おききき  
おききき

おききき  
おききき

おききき  
おききき



二ノリナ 多所也 某等用

一 徴之人

其師 仍也 也

新用也

方... 用... 全...

一 禁... 申...

一 徴... 人...

口二十月二年六		...	
署	徴兵	...	
右東三鎮... 補充兵	安兵	宮崎	...
	...		

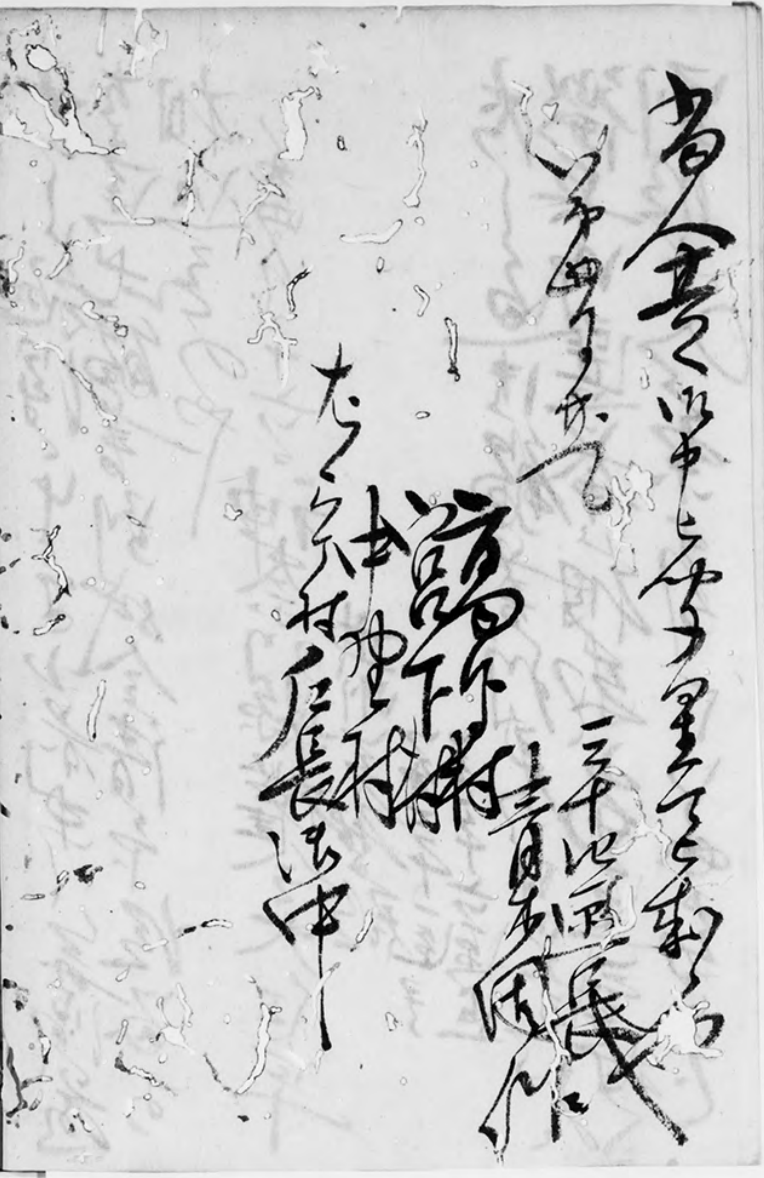


高令其以半存子里之制

三月廿七日

三月廿七日

高令其以半存子里之制



高令其以半存子里之制

高令其以半存子里之制

長副申

區長 橋川高徳 佐藤清重

此村下之長申 法御位 總五之

鳥



明治六年...

中...

尾酒

長...

標浪  
町令請

表

三橋...

書目西願之趣聞局事

神...

...

...

...

...

記

...

...

...

...

...









一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、

一、

二、

三、

四、

經濟學部  
研究室  
印

Handwritten text in cursive script (草書) covering the entire page, including the central vertical column and the left side. The text is dense and appears to be a list or a series of notes.

